



SUPAA RULE BOOK 2014

Last Updated 12 December 2013

Japanese Ver.

Translated by Tomoyasu Murabayashi

The Stand Up Paddle Athletes Association

327 55th Avenue

Saint Pete Beach, FL 33706

Phone: 727-481-3637

Email: info@supathletes.com

www.supathletes.com

No part of this Rule Book may be reproduced in any form
without
permission from The Stand Up Paddle Athletes Association.



第 1 章: EQUIPMENT / エキップメント

- 第 1 条: Application of this Chapter この章の適用
- 第 2 条: Board Restrictions ボードの制約事項
- 第 3 条: Board Classes Defined ボードクラスの定義
- 第 4 条: Board Control ボードコントロール

第 2 章: SUPAA EVENTS / SUPAA イベント

- 第 5 条: Organization of Competition 大会の組織構成
- 第 6 条: Race Committee レース委員会
- 第 7 条: Duties of Officials オフィシャルの任務
- 第 8 条: Certification of Officials オフィシャルの認定
- 第 9 条: Entry Fees エントリーフィー
- 第 10 条: Prize Money 賞金
- 第 11 条: Scheduling スケジューリング
- 第 12 条: Safety 安全
- 第 13 条: Event Website イベントウェブサイト
- 第 14 条: Race Meeting レースミーティング
- 第 15 条: Race Courses レースコース
- 第 16 条: Buoys ブイ

第 3 章: RACING REGULATIONS / レーシング規制

- 第 17 条: Race Start レーススタート
- 第 18 条: Finish フィニッシュ
- 第 19 条: Drafting ドラフティング
- 第 20 条: Paddling the Course コースパドリング
- 第 21 条: After the Race レース後
- 第 22 条: Disqualifications 失格
- 第 23 条: Protest プロテスト(抗議)
- 第 24 条: Competitor Classification 選手のクラス分け

付録 A: SUPAA RACE KIT / SUPAA レースキット

付録 B: PRIZE MONEY BREAKDOWNS / 賞金の内訳

付録 C: AGE GROUP CLASS BREAKDOWNS / 年齢別グループクラスの内訳

第1章: EQUIPMENT / エキップメント

第1条: Application of this Chapter この章の適用

この章は、すべてのサーフボードシェイプ、12'6"、14' とアンリミテッドボードに適用されます。

第2条: Board Restrictions / ボードの制約事項

2.01 12'6"ボードは幅が23.75"インチ未満であってはならない。14'ボードは幅が23"未満であってはならない。幅はボード中央の3" inch rail mark から計測する。

※3"inch rail mark (3 インチレールマーク)とは、ボードの中央部分(通常ハンドルがついているあたり)のレールのトップから3インチ(7.62 cm)下の部分のことをいう。両サイドの3インチレールマークを結んだ長さを測る。

2.02 スタンディングエリアからレールのトップまでを測定し、12.5cm(4.92インチ)以上デッキ部分を凹ませてはならない。

2.03 「スタンディングエリア」はボードのトップの任意の場所に定義されます。

2.04 12'6"ボードは9 kg(19.84ポンド)以上、14"のボードは10 kg(22.05ポンド)以上の重さとする。

2.05 ラダーはアンリミテッドクラスのボードのみで許可される。

2.06 アンリミテッドとサーフボードクラスを除くすべてのボードは、フィン1枚(1つ)のみとする。

2.07 現在生産中のボードあるいは、既にプロダクション化されているボードは全て2016年まで合法とする。

第3条: Board Classes Defined / ボードクラスの定義

3.01「12'6"ボードクラス」は12'6"以下の任意のボードに定義される。

3.02「14'ボードクラス」は14'以下の任意のボードに定義される。

3.03 「アンリミテッドボードクラス」はそれが人力によるものであること以外に制限はない。

3.04「サーフボードクラス」は12'5"以下の任意のボードに定義される。

サーフボードクラスのボードは、変わった形や凹んだボード形状になってはいけない。

3.05 複数の船体(スタンダマランなど)はアンリミテッドボードクラスのみで許可される。

3.06 ラダーはアンリミテッドボードクラスのみで許可されています。

3.07 フォイルはアンリミテッドボードクラスのみで許可されています。

3.08 複数船体は2つ以上の船体から成り立ちます。

いずれか1点で3インチ(7.62 cm)以上の凹みが測定された場合も複数船体ボード(アンリミテッド)に分類されます。

3.09 「フィン」とは水中のボードに付属する6 cm(2.4インチ)またはそれ以上の任意の外部アタッチメントまたは突起物である、と定義される。

3.10 「フォイル」とは、任意の外部付属品で、流体力学的揚力を生み出す物、と定義される。

3.11 「パドル」とは、片側1つだけのブレードを持つ推進力を生み出す物で、一端にハンドルがあ

り、他方にブレードがある、と定義される。複数のブレードを持つ物は合法としない。

3.12 「ラダー」とは、固定された場所から回転(旋回)することができるフィンかフォイルと定義される。

3.13 「アタッチメント」とは、ボード船体の表面に付属するもので、フィン、ハンドル、フォイルなどがあるが、これらに限定されない。

第 4 条: Board Control/ボードコントロール

4.01 板の長さは、テイルの 1 番後ろからノーズの 1 番先端までを測定する。

4.02 制限された重量より少ないボードは、コントロール(測定)をパスするまで、任意のウエイトをプラスすることができる。

このようなウエイトアタッチメントは、付けた状態でレースを通じて十分に安全な状態でなければならない。

4.03 ボードコントロールの後やレース直前に、ボードにいかなる変化があった時もボードクラスの条件に適合していなければならない。

4.04 一度ボードコントロールをパスしたら、SUPAA ステッカーとスタンプを受け取りボードに付ける。SUPAA ボード認定はステッカーとスタンプが所定の位置にあれば、1 年間有効である。

4.05 ボードコントロールには SUPAA 認定ツールが使用されなければならない。

4.06 SUPAA 認定ステッカーを紛失、または所定の位置から剥がれた場合、そのボードは再びボードコントロールを受ける必要がある。

4.07 ボードは、コンペティターのレースフィニッシュ後 1 時間以内ならいつでも再検査することができる。

4.08 あらゆる機械装置、アタッチメントや改良が加えられたもので、コンペティターに不当なアドバンテージを与えるであろうものは禁止する。

スピードメーター、GPS デバイス、またはその他のリアルタイムのフィードバックをする装置は禁止デバイスから除外されていて使用することができる。

第 2 章: SUPAA Events/SUPAA イベント

次の章は、すべての SUPAA のイベント、コンペティター、関係者に適用される。

第 5 条: Organization of Competition/コンペティションの組織構成

5.01 コンペティションは以下によって監修される

Head Race Director ヘッドレースディレクター

Deputy Race Director 副レースディレクター

Competition Manager コンペティションマネージャー

Athlete Representative(s) アスリート代表者(代表者達)

Board Controllers ボードコントローラー (ボード測定係)

Starter スターター

Aligner アライナー

Course Umpires コースアンパイア コース審判

Chief Safety Director セーフティーディレクター

Finish Line Judges/Timekeepers フィニッシュラインジャッジ/タイムキーパー

Announcer アナウンサー

Media Officer メディアオフィサー (メディア責任者)

5.02 すべての SUPAA 公認のイベントには、SUPAA のスーパーバイザーポジションの認可を受けているオフィシャルが少なくとも 1 人いなければならない。(2015 から実施する)

5.03 状況が許せば、1 人で上記の 2 つ以上のポジションを兼任することができる。
ただし、レース委員会のポジションを除く。

第 6 条: Race Committee/レース委員会

6.01 コンペティションは、以下のものからなるレース委員会によって運営される。

- (a) Head Race Director ヘッドレースディレクター
- (b) Deputy Race Director 副レースディレクター
- (c) Competition Manager コンペティションマネージャー
- (d) Athlete Representative(s) アスリート代表者(代表達)

6.02 レース委員会:

- (a) コンペティションを組織し、管理しなければならない。
- (b) 悪天候やその他の事情により大会を開催することが不可能な場合、大会を延期し別の日程を決める。
- (c) いかなる違反行為も記録するためにレースのスタートとフィニッシュを監視しなければならない。
- (d) あらゆる抗議を聞いて、決議しあらゆる議論を解決しなければならない。
- (e) イベントの前、イベント中、イベント後にアスリート代表(達)と協議をしなければならない。

(f) SUPAA 本部へレポートを提供しなければならない。

レポートはイベントの結果、あらゆる抗議の記録、その後の意思決定、コンペティションでの参加関係者のリストを含む。

6.03 レース委員会は、プロテスト(抗議)に関する判断が行われる前に、

- (a) その違反を報告しているオフィシャル、または選手から完全にレポートを受けなければならない。
- (b) その事件を見たオフィシャルまたは、指名された SUPAA アスリート代表者から意見を得ること

ができる。

- (c)他の SUPAA オフィシャルに意見を求めることができる。
- (d)主張の信憑性を確認するためにあらゆるビデオや写真を利用することができる。
- (e)これらのルールに基づいて決定する。

6.04 失格者が出た場合、その失格者の家族またはスポンサー関係のレース委員会のメンバーは、レース委員会から退かなければいけない。

ヘッドディレクターは他の指定されたSUPAAオフィシャルメンバーから一時的な代理人を選ばなければならない。

第 7 条 :Duties of Officials/オフィシャルの任務

7.01 ヘッドレースディレクターはレース委員長であり、そして

- (a)これらのルールにない競技中のすべての事項を決定しなければならない。
- (b)競技中に規則が破られた場合、失格に関する事項を決定しなければならない。
- (c)失格となった個人に、その結果が発表される前に直ちに通知しなければならない。
- (d)全てのオフィシャルがそのことについて通知され、競技の準備ができていることを確認しなければならない。
- (e)すべてのコースが SUPAA 基準に従って計画されていることを確認しなければならない。

7.02 副レースディレクターはヘッドレースディレクターを補助し、ヘッドレースディレクターが必要とした場合はその代理になる。

7.03 コンペティションマネージャー(競技会責任者)は、コンペティション(競技会)の管理作業を担当しなければならない。

下記を含む:

- (a)少なくとも 3 か月前に全てのコースマップが利用可能であることを確認し、イベントレース当日にも確認する。
- (b)イベントが発表された時に、コンペティターが利用可能になるように SUPAA レースキットを用意する。

レースキットのコピーについては、付録 A を参照。

- (c)SUPAA の規則に従って、スタートラインとフィニッシュラインを準備する。
- (d)タイムキーパーと協力し、リザルトを記録し掲示する。
- (e)各カテゴリーの受賞者のリストを作成する。
- (f)レース、リザルトに関する必要な全ての情報や、イベントに関するその他の情報をアナウンサーとレースディレクターに提供する。
- (g)レースを管理し、プログラムがスケジュールに従って行われていることを保証する責任がある。
- (H)すべてのコースが SUPAA の規則に従って設定されていることを保証しなければならない。

7.04 ボードコントローラーは

下記をしなければならない:

- (a) 競技開始前に全てのボードを測定計量し、認可する。
- (b) 第 2 章に関する条件を満たさないボードは失格にする、または任意の正しいヘルプをする。
- (c) 第 3 条で定義されているように各カテゴリーにボードを分類する
- (d) ボードコントロールに報告をしている全てのボードの認可をレース後に確認する。
- (e) あらゆる違反を記録しヘッドレースディレクターに報告する。

7.05 スターターは

下記をしなければならない:

- (a) ヘッドレースディレクターと連携し、レースをスタートするための最も安全な方法を決定する。
- (b) コンペティションマネージャーがスタート手順について完全に理解していることを確認する。
- (c) レース委員会と連携し、スタートの不正を判定する責任がある。
- (d) スタート機器が正常に動作していることを確認する。
- (e) スタートの準備が全て完了したら、スタートライン上の他のレースオフィシャルに伝える。
- (f) コンペティターに自分の場所を確保させ、レーシングルールに従ってスタートを実行する。
- (g) 必要に応じて、スタートラインへコンペティターを呼び出すアライナーとしての役割を行う。
- (h) スタートの状況が公正かつ安全であると判断した時、レースルールに従ってレースをスタートする。

7.06 アライナーは、レースのスタートラインルールを実施しなければならない

下記を含む:

- (a) コンペティターがスタートラインで十分なスペースを持っていることを確認する。
- (b) 危険または不当なスタート条件を修正する。
- (c) 選手のスタート位置が決まっている場合はコンペティターが所定の場所に並んでいることを確認する。
- (d) スタートラインにコンペティターを誘導し、準備が整ったらスターターに通知する。

7.07 アスリート代表者(達)は下記をしなければならない。

- (a) SUPAA 委員会と(または)ヘッドレースディレクターから所定の位置に指名される。
- (b) 現在の SUPAA メンバーの 1 人以上、3 人以下のメンバーで構成される。
- (c) 過去 2 年以内に SUPAA 公認イベントに出場した。
- (d) イベント前、中と後に、レース委員会と協議する。
- (e) あらゆるイベントに関する変更を決定をするのを助ける。
- (f) イベント終了 1 週間後にイベントでの経験、改善のための提案を含めたイベントレポートを SUPAA 本部に提出する。

7.08 コースアンパイア(審判)(達):

- (a) レース前、レース中にルールが厳守されていることを確認しなければならない。

(b) SUPAA のルールに従って、すべてのレース船舶が機能していることを確認しなければならない

(c) ジュニアのレース中のみ、コンペティターに指示を出すことができる。

(d) 悪天候や危険な天候の際にはレースをキャンセルしなければならない。

(e) あらゆる違反行為があった場合はレース後ただちにチーフオフィシャルに報告しなければならない。

(f) あらゆる予測不可能な状況の場合には、外部からの妨害を制御するために行動しなければならない。

7.09 チーフセーフティディレクター(安全統括部長)は下記をしなければならない:

(a) 地元を管轄する海上保安庁、行政から全てのレースコースを承認してもらう。

(b) レースコースの承認、またはレースコースの変更についてレース委員会と協議する。

(c) 全てのレースサポート船が SUPAA と海上保安庁の安全ルールに従うことを保障する。

(d) 全てのレース関係者やコンペティターが、レース日の潮位、カレント、障害物や気象条件を知らされていることを確認する。

(e) イベントスタートの 24 時間以内にレース当日の具体的な天気予報を発表する。

(f) 公式のレース開始時間まで必要に応じてレース当日の天気予報を更新する。

(g) SUPAA が承認した安全プロトコル(手順)が少なくともイベント開始の 72 時間前に所定の位置にあることを確認する。

(h) 全てのレース関係者やコンペティターがレースルールに記載された安全プロトコルについて理解していることを確認する。

(i) 安全プロトコルを円滑に実行する。

7.10 Finish Line Judges/Timekeepers: フィニッシュラインジャッジ/タイムキーパー:

(a) できるだけフィニッシュラインの近くのフィニッシングポスト(任意のコンペティターの邪魔にならない場所)に位置し、フィニッシュライン全体をはっきり見ることができるようにすること。

(b) コンペティターがフィニッシュラインを通過した順番を記録する責任がある。

(c) タイブレーク(同着)を判定するには、写真/ビデオのフィニッシュラインメディアを参考にする。

(d) フィニッシュラインが SUPAA 規則に従って設置されていることを確認しなければならない。

(e) その場所は、コンペティションマネージャーによって配置される。

(f) すべての結果を参照し、整理しなければならない。

(g) タイムキーパーは、デジタル方式または手動方式でタイムを記録する責任がある。

(h) 公式結果を直ちにヘッドレースディレクターに通知しなければならない。

7.11 アナウンサーは全てのアナウンスを副レースディレクターによって承認されている必要があります。以下をアナウンスしなければならない。

(a) 各レースのスタート時間

- (b) レースオフィシャルからの重要な更新事項
- (c) レース中のコンペティターの位置;
- (d) 公式結果(オフィシャルリザルト)
- (e) イベントに関連するその他の発表

7.12 メディア担当: メディアオフィサー

- (a) イベント前、イベント中、イベント後にメディアの代表者に情報を提供しなければならない。
- (b) 副レースディレクターに情報を要求する権利があります。
- (c) レース前後のメディアへの広告を提供するために、SUPAA と作業する。

第 8 条: Certification of Officials/オフィシャルの認定

- 8.01 すべて SUPAA オフィシャルは 18 歳以上でなければなりません。
- 8.02 オフィシャル候補者やオフィシャルは SUPAA の優良メンバーでなければなりません。
- 8.03 SUPAA オフィシャルとしての認定は審査と面接に基づいて行われる。
- 8.04 SUPAA の審査はこれらの規則と実践的なレースの経験に基づいて行われる。
- 8.05 認定料は、認定が正常に完了すると SUPAA 公認個人に請求される。

第 9 条: Entry Fees/エントリーフィー

- 9.01 SUPAA 公式フィニッシュタイムを受け取るためには、エントリーフィーが支払われる必要があります。
- 9.02 エントリーフィーは 1 レースで、コンペティター 1 人あたり、200 ドル(2 万円)以下とする。
- 9.03 イベントで途中失格または途中棄権してもエントリーフィーは返金されない。

第 10 条: Prize Money/賞金

- 10.01 最終的な最低賞金額は、イベントの少なくとも 3 ヶ月前に発表されている必要があります。
- 10.02 賞金の内訳は、付録 B に従わなければなりません。
- 10.03 すべての賞金は、イベントの完了後にその場で支払わなければならない。
- 10.04 ヘッドレースディレクターが指定する唯一のプロクラスにのみ支払わなければならない。
- 10.05 イベントの主催者は、税金の支払いを処理する場合は、公示賞金総額は国の法律で規定された税金を引いた額でなければならない。
- 10.06 銀行振込での支払いの場合、イベント側は、銀行の詳細情報(口座番号等)を提出した全コンペティターに 7 日以内に支払いを完了すること。
イベント終了後 2 ヶ月たっても、コンペティターが銀行の詳細情報を提出しない場合は、賞金は没収されます。
- 10.07 イベント側が、イベント終了後 7 日以内、もしくは正しい銀行情報が提出された日から 7 日以内に、コンペティターに賞金を支払うことができなかった場合、

その問題のヘッドディレクターが関与する翌年のイベントは SUPAA の認可を失うことになる。
(2015 より有効)

10.08 賞金の規則に従わない場合は、問題のヘッドレースディレクターが関与するその翌年のイベントは SUPAA の認可を失う。規則を破ったイベントも同様である。(2015 より有効)

第 11 条: Scheduling/スケジューリング

11.01 SUPAA イベントは、世界中の地域で、(近場は特に)重ならないスケジュールにするために最善の努力をしなければならない。

11.02 賞金 US\$10,000(100 万円)以上のイベントは、1000 マイル(約 1600km)以内の地域で、賞金が US\$10,000 以上の他のイベントがある場合は、2 週間以内で互いに同じプロボードクラスサイズでレースを行えるように調整する。

11.03 イベントの日程は、遅くとも 3 ヶ月前に発表されなければならない。

11.04 イベントの日程は予定日の 3 ヶ月以内に変更してはいけない。

第 12 条: Safety/安全

12.01 安全プロトコル(手順書)および安全計画は、チーフセーフティオフィサー(安全統括責任者)によって監督されなければならない。

12.02 各イベントは、遅くともイベントの 1 週間前に、書面で安全プロトコルを所有していなければならない。

安全プロトコルは下記を含む。

- (a) 地理的に可能ならば、悪天候時の代替のコース
- (b) イベント会場に、またはその近くに、少なくとも 1 つの EMS チームが待機
- (c) コンペティターの非常時の経路
- (d) 全レースのパドラー 40 人ごとに少なくとも 1 艇の安全監視船
- (e) ビーチコースで波高 1m 以上の時、パドラー 20 人ごとに少なくとも 1 艇の安全監視船または 1 人のライフガード
- (f) 地元の海上保安法を遵守
- (g) すべてのレース関係者間の通信システム

12.03 船舶事業者は下記をしなければならない。

- (a) 現地の法律に基づいて船を操作する資格を持っていないなければならない。
- (b) 18 歳以上であること
- (c) チーフセーフティオフィサー(安全統括責任者)によって指示されるすべての安全手順を理解する
- (d) 本人や搭乗者はウォーターセーフティおよび/または CPR(心肺蘇生法)の認定を受けていないなければならない。

- (e) レース中にチーフセーフティオフィサー(安全統括責任者)と直接コミュニケーションを取る。
 - (f) 船上に補助の安全担当者を少なくとも1人乗せる。
 - (g) ヘッドレースディレクターにレースの最新情報を提供する;
 - (h) 全コンペティターの100メートル以内に6インチ(約15cm)より大きい引き波を作らない。レース船は加速する必要がある場合は、少なくとも最初の100メートルは、一番近くのコンペティターから45度の角度でアイドリング状態でコース上を進行方向に進む。
 - (i) 公式レース船はその印としてフラグまたは他の標示を付けなければならない。
 - (j) 常にレースコース上のコンペティターの安全を確保すること。
 - (k) 天候を観察し、あらゆる変化をチーフセーフティオフィサー(安全統括責任者)に報告する。
 - (l) レースコースの始め、中間、終わりに位置すること。
- 12.04 SUPAA ディスタンスイベントに参加する全てのコンペティターは、地元の海上法律に関わらずリーシュを着用しなければならない。
- 12.05 何かしらのトラブル(パドルできない状態など)に見舞われたパドラーは頭の上で手を振ったり、頭上でパドルを前後に振ったりして知らせないといけない。
- 12.06 トラブルに見舞われた別のパドラーを見つけたコンペティターは、そのパドラーを支援し、近くにいる安全担当者にそれを知らせる手助けをしなければならない。

第13条: Event Website/イベントウェブサイト

- 13.01 イベントのウェブサイトには、イベントの3ヶ月前には次のものが含まなければならない:
- (a) レースコースの地図と距離。代替コースも表示するべきである。
 - (b) イベントの詳細スケジュール。レジストレーション、レーススタート、表彰式の時間も含める。
 - (c) イベントに参加する方法について
 - (d) 賞金総額と内訳
 - (e) イベントサイトの住所
 - (f) ボードの置き場所とイベント会場の物流に関する情報。
 - (g) 追加のイベント情報と最新情報

第14条: Race Meeting/レースミーティング

- 14.01 SUPAA イベントは必ず下記に従ってレースミーティングを行わなければならない。
- (a) ヘッドレースディレクターが実施する。
 - (b) レースコース、スタート/フィニッシュの一連の動きを説明をする。
 - (c) レース時の天候、潮位、風向きの最新情報を示す。
 - (d) 安全プロトコルを説明する。
 - (e) ミーティングはレーススタート前に少なくとも30分、1時間以内で行う。

第 15 条: Race Courses/レースコース

15.01 すべて SUPAA イベントは、SUPAA からの特別な許可が無い限り、公認レースコースの規則に従っている必要があります。

15.02 イベントで 25 ノット(約 13m)以上の持続的な強風が発生した場合は下記に従う

(a) 地形的に可能であれば、レースの少なくとも 40%がストレートアップウインドかストレートダウンウインドセクションになるように調整する。

(b)「アップウインド」と「ダウンウインド」はその時優勢な風向きの 20 度以内に定義される。

15.03 全ての SUPAA コースは、全て GPS で測定する。スプリントコースとウルトラディスタンス以外は、アドバタイズ(告知)した長さの 300m(984 フィート)以内でなければならない。

スプリントコースは 25m(82 フィート)以内、ウルトラディスタンスは 1km(0.6 マイル)以内でなければなりません。

15.04 スプリントコース:

(a) 100m(328 フィート)以上で、1000m(0.62 マイル)以下とする。

(b) 各レース/各ヒートは 10 人以下のコンペティターで行う。

(c) ブイターンは 1 回までとする。

(d) 最初で最後のブイターンは、スタートラインから 50m(164 フィート)以上とする。

(e) ヒートシステムは、ファイナルに到達するまでに 6 ラウンド以下とする。

(f) コース内にランニングエリアがあってはならない。

15.05 SUPAA ビーチコース:

(a) それはスタートラインの前の 1.5km(0.93 マイル)の四方形の領域の中で行われる。

(b) Pro イベントが 2 つのレース(予選、本選)を組み合わせている場合、1 つのコースは 3 キロ(1.86 マイル)以上で 8 キロ(4.97 マイル)以下でなければならない。

(c) 単一のイベントとして開催された場合には、5 キロ(3.1 マイル)以上、そして 10 キロ(6.21 マイル)以下でなければならない。

(d) 一つのカテゴリーに 100 人以上のコンペティターが参加する場合は、予選ヒートを行わなければならない。

(e) 40 人以下のコンペティターの時は、最初のブイターンはスタートラインからの距離を 100m(328 フィート)以上にしなければならない。

(f) コンペティターの人数が 40 人以上の場合は、最初のブイまでの距離を 10 人ごとに 10 メートル(33 フィート)追加する。

(g) 最後のブイターンからフィニッシュまでの距離を 100 メートル(328 フィート)以上とする。

(h) コース内のランニングエリアは 1 周ごとに 100m(328 フィート)以下とする。

15.05 SUPAA 5K ショートコース:

- (a) 5 キロ (3.1 マイル) の距離のレースコースと定義される。
- (b) ブイターンは 8 回以下とする。
- (c) 40 人以下のコンペティターがいる時は、最初のブイターンはスタートラインからの距離を 100m (328 フィート) 以上とする。
- (d) コンペティターの人数が 40 人以上の場合は、最初のブイまでの距離を 10 人ごとに 10 メートル (33 フィート) 追加する。
- (e) 最後のブイターンからフィニッシュまでの距離を 100 メートル (328 フィート) 以上とする。
- (f) ランニングエリアがあってはいけない。

15.06 SUPAA 10K ミドルディスタンスコース:

- (a) 10 キロ (6.2 マイル) の距離のレースコースと定義される。
- (b) ブイターンは 8 回以下とする。
- (c) 40 人以下のコンペティターがいる時は、最初のブイターンはスタートラインからの距離を 100m (328 フィート) 以上とする。
- (d) コンペティターの人数が 40 人以上の場合は、最初のブイまでの距離を 10 人ごとに 10 メートル (33 フィート) 追加する。
- (e) 最後のブイターンからフィニッシュまでの距離を 100 メートル (328 フィート) 以上とする。
- (f) ポーテージ (ボードを持って陸上を移動する) を必要とするコース以外は、ランニングエリアがあってはいけない。
- (g) ポーテージは 0.5 キロ (0.3 マイル) 以下とする。

15.07 SUPAA 16K Pro ディスタンスコース:

- (a) 16 キロ (9.9 マイル) の距離のレースコースと定義されている。
- (b) ブイターンは 12 回以下とする。
- (c) 40 人以下のコンペティターが存する時は、最初のブイターンはスタートラインからの距離を 100m (328 フィート) 以上とする。
- (d) コンペティターの人数が 40 人以上の場合は、最初のブイまでの距離を 10 人ごとに 10 メートル (33 フィート) 追加する。
- (e) 最後のブイターンからフィニッシュまでの距離を 100 メートル (328 フィート) 以上とする。
- (f) 例外のコースでポーテージ (ボードを持って陸上を移動する) を必要とする場合以外はランニングエリアがあってはいけない。
- (g) ポーテージは 0.5 キロ (0.3 マイル) 以下とする。

15.08 SUPAA 52k ウルトラディスタンスコースは、52 キロ (32 マイル) の距離のレースコースと定義される。

15.09 SUPAA ダウンウインドコースは、両後ろ側 20 度以内からの 10 ノット以上の安定した風速でダウンウインドできるコースと定義される。

15.10 SUPAA ゲートコース:

- (a)コンペティターがどのブイ(ゲート)を回るか選ぶことができるレースコースと定義される。
- (b)1つのゲートを形成するために2つのブイをそれぞれ10メートル以内(33フィート)に配置する。
- (c)SUPAA スプリントコースの距離より長くてはいけない。(1000m 以下)
- (d)コンペティターは、ゲートの右か左どちらを通過するかヘッドディレクターによって指示を受けなければならない。
- (e)ゲートを間違った方向に通過した場合はコンペティターは失格となります。
- (F)SUPAA スプリントコースのルールを遵守する。

15.11 SUPAA アンリミテッド(無制限)コース:

- (a)SUPAAによって承認されたコースで、第15条で説明したいずれのカテゴリーにも該当しないコース。

第16条: Buoys/ブイ

- 16.01 SUPAA コースで、指定された側をコンペティターに通過させるための対象物と定義される。
- 16.02 どの方向にも1メートル以上移動しない方法で固定しなければならない。
- 16.03 インフレーターブルブイまたは固形マークのみがブイとして使用することができる。
- 16.04 ボートは、完全なフラット海面に係留されている場合を除いて、決してコース上のブイとして使用してはいけない。
- 16.05 第15条で指定されている数と距離に配置する。
- 16.06 レースミーティングが始まる前に、最終的なレースコースの位置に設定する。
- 16.07 側面にロープや他の障害物がついてはいけない。

第3章: Racing Regulations/レーシング規則

第17条: Race Start/レーススタート

- 17.01 第7条で説明されているようにスターターとアライナーによって実行されなければならない。
- 17.02 レース委員会で承認、調整しなければならない。
- 17.03 60人以上のパドラーがいる場合、男女別、ボードクラス別のスタートをしなければならない。
- 17.04 賞金があるレースは、常に男女別、ボードクラス別のスタートをしなければならない。
- 17.05 スプリントコースは常に男女別、ボードクラス別のスタートをしなければならない。
- 17.06 シングルホーンブラストまたはスターターガンを使用しなければならない。
- 17.07 スタートの合図は、できるだけスタートラインの中央から鳴らすように最善を尽くす。
- 17.08 レースを開始するための安全で制御された手段を準備しておかななければならない。
- 17.09 スタートラインにおいて、風、カレント、波、またはその他の外的要因による不当なアドバン

テージを与えてはいけない。

17.10 公表されたレースの時間とフォーマットに従って開始するものとする。

17.11 公表されたレース開始時間の 5 分以内に開始しなければならない。

17.12 コンペティターを、スタート開始の 10 分前から 1 分前の間にスタートライン付近に配置しなければならない。

17.13 あらゆるコンペティターで、スターターまたはアライナーの指示に従わない者、スタートシーケンス(手順)が開始された後にスタートラインの前に出た者は不正スタート(フライング)となる。

17.14 上記以外の方法の代替レーススタートは、独特な地理、レース形式またはコンディションの場合に行うことができる。

すべての代替スタートは SUPAA 認定のオフィシャルの承認を得なければならない。

17.15 レーススタートの順番とシーケンス(手順)は次のようにしなければならない：

Unlimited Men アンリミテッド男子

Pro Men プロ男子

Unlimited Women 無制限女子

Pro Women プロ女子

Open Men オープン男子

Open Women オープン女子

17.16 各スタートの間は少なくとも 3 分以上、10 分以内にしなければならない。

17.17 ビーチスタート：

(a) スタートラインは水に対して平行でなければならない。

(b) スタートラインは最高水位線(水がある場所)から 1m(3.3 フィート)以上、5m(16.4 フィート)以下でなければいけない。

(c) フラグをセットしてスタートラインの両端を表示しなければならない。

(d) パドラー 1 人につきスタートライン上に 1m の幅を確保しなければならない。

(100 人パドラーの場合は 100m の長さのスタートライン)

(e) ブラックロープを使用して、両端のフラッグの 1 番下に結び、砂の中にまっすぐなスタートラインを表示する。

(f) ロープが利用できない場合は、スタートラインに沿って 5m(16 フィート)ごとにフラッグを設置する。

(g) スターターは「"racers to the line"(レーサーはスタートラインへ並んでください)」という指示と/または、短く 1 回ホーンを鳴らし、スタートラインにコンペティターをスタート開始前 1 分以内に並ばせる。

(h) レーサーは黒のロープ上に足を置かなければならないが、ロープをオーバーしてはならない。

(i) スタートラインにフラッグを使用する場合、コンペティターはフラッグの位置に自分の体を合わせなければならない。

- (j) コンペティターの体がスタートフラッグの前に完全に出ているとレース委員会から不正スタート(フライング)が与えられる。
- (k) コンペティターの足が完全に黒い線をオーバーしている場合はアライナーから不正スタート(フライング)が与えられる。
- (l) アライナーは、コンペティターの名前とナンバーを記録し、不正スタートをしたことをできるだけ早く本人に伝えなければならない。
- (m) アライナーが公正なスタートラインが形成されたと判断した時、スターターは長いホーンを1回鳴らしレースを開始する。
- (n) 30 ノット(約 15m)を超える風、ビーチが狭い時や天然または人口の障害物を含む、危険なビーチスタートコンディションで安全が確保できない場合は、17 条 18(ウォータースタート)のプロトコルに従う。

17.18 ウォータースタート:

- (a) 最初にターンするブイに対して垂直方向にコンペティターが向いてなければならない。
- (b) 直径 1 メートル以下のブイを両側に使用しスタートラインを表示しなければならない。
- (c) スタートラインのブイはアンカーラインで繋がれたものを使用しなければならない。
- (d) スタートラインのブイは、あらゆる方向 1m(3.3 フィート)以上動いてはならない。
- (e) パドラー1人につきスタートライン上に 1m の幅を確保しなければならない。
(100 人パドラーの場合は 100m の長さのスタートライン)
- (f) スターターは「"racers to the line"(レーサーはスタートラインへ並んでください)」という指示、または、短く1回ホーンを鳴らし、スタートラインにコンペティターをスタート開始前 30 秒から 5 秒前までに並ばせる。
- (g) コンペティターは、スターターによってスタートラインに呼ばれる前に、スタートラインの 1m(3.3 フィート)以内に入らないように最善の努力をしなければならない。
- (h) スタートのホーンの音が鳴る前に、コンペティターの体がブイの前に出た場合は、不正スタート(フライング)が与えられる。
- (i) イベントが強風またはチョッピー(荒れた)海面で行われる場合は、コンペティターはスタートブイより後ろで自分のボードに座るように求められる場合がある。
- (j) コンペティターがレースラインに呼ばれると、レースは次の 5 秒以内に長いホーン 1 回でスタートしなければならない。
- (k) スターターまたはアライナーは、スタートラインに満足しない場合、一旦コンペティターに「ストップ」とコールし、コンペティターは再びスタートシーケンスを開始する。
- (l) プレスタートラインは、コンペティターのスタートをより制御するために設置することができる。
プレスタートラインはスタートラインの 4m(13 フィート)後方に平行に設置する。
コンペティターは短い 1 回のホーンにより、プレスタートラインにスタート 1 分前に呼ばれる。プレスタートラインはスタートラインと同じ方法で実施されます。
スターターは、コンペティターを「"racers to the line"レーサーはスタートラインへ並んでください」と

いう指示、または 2 度目の短い 1 回のホーンによってスタートラインに並ばせる。

次の 10 秒以内に 3 度目の長い 1 回のホーンを鳴らしレースがスタートします。

17.19 ダウンウインドスタート:

17.20 地形とコンディションが許す場合、ビーチスタートもしくはウォータースタートのルールに従う。

17.21 もし、スタートが外洋スタートの場合は、下記の修正と共にウォータースタートのプロトコルに従わなければならない。

(a) スタートラインの風上 20m(66 フィート)~50m(164 フィート)のところにポートカブイでプレスタートラインを設置する。

(b) スターターはスタートの 10 分前から 2 分前までの間にプレスタートラインに全てのコンペティターを呼び集めること。

(c) プレスタートラインは、スタートラインと同じように実施する。

(d) スターターはホーンを 2 回鳴らし、フラッグを上げてレーサーをスタートラインに呼ぶ。

(e) スタートラインに並んだ 15 秒以内に長いホーンを鳴しフラッグを下しレースがスタートする。

(f) スタートの時にスタートブイの前に体が出ているコンペティターは 2 分のペナルティーが与えられる。

17.22 スプリントスタート:

17.23 第 17 条のスタートルールに従う。

17.24 コンペティターは、自分のヒートのスタートシーケンスが始まった時に、スタートラインにいなければファウルとなる。

17.25 スターターは、スタートラインに来ていないパドラーを待つてはいけない。

17.26 代替レーススタートは、独特な地理、レース形式またはコンディションの場合に行うことができる。すべての代替スタートは SUPAA 認定のオフィシャルの承認を得なければならない。

17.27 ファウルスタート(不正スタート)

17.28 スターターが「"racers to the line"レーサーはスタートラインへ並んでください」とコールした後に、コンペティターはラインを越えたらファウルとなる。

17.29 2 回ファウルしたコンペティターは失格となる。

17.30 コンペティターはスタートサインにのみ反応すること、スタートを予測してはいけない。

17.31 コンペティターはスタートラインに呼ばれて、スタートするまでの間に、前方へのパドルストロークを行ってはならない。

17.32 SUPAA プロディスタンスイベントにおいて、スタート時にファウルを犯したコンペティターには 2 分間のペナルティーが与えられる。ホーンの 2 秒以上前にスタートした場合は失格となる。

17.33 スプリントレースのスタートでファウルがあった場合は、スターターが長いホーンを鳴らし、全てのコンペティターをスタートラインに呼びもどす

そのコンペティターは、ファウルを言い渡された後に、2 度目のファウルをすると失格となる。

17.34 スタートの不成立

17.35 病気や怪我以外の理由で、割り当てられたヒートに参加しなかったコンペティターはその日のイベント全日程で失格となる。

17.36 ヒートスタート時刻に遅れたパドラーは失格となり、競技に参加できない。

17.37 リ・スタート

17.38 外部からの妨害、その他の不測の事態が起こった時には、スターターはホーンを 2 度長く鳴らして、全てのコンペティターを呼びもどす。

スターターは全てのコンペティターがスタートラインに並んだら、新たにスタートシーケンスを開始する。

第 18 条: Finish/フィニッシュ

18.01 ウォーターフィニッシュの場合はフィニッシュラインをボードの先端が通過した時、ビーチフィニッシュの場合はコンペティターの体の一部がフィニッシュラインを越えた時をフィニッシュとする。

18.02 コンペティターは完全なウォーターフィニッシュを決めるためには、パドルを手に持った状態で最低 3 秒ボードの上になければならない。

18.03 コンペティターは完全なビーチフィニッシュを決めるためにはパドルを手に持ってコントロールしていなければならない。

18.04 フィニッシュ時にパドルを持っていない、もしくはパドルをコントロールできてないコンペティターは公式タイムと順位を受け取る前にもう一度フィニッシュラインを通過しフィニッシュを完了させなければならない。

18.05 フィニッシュラインジャッジは、違反が起こった場合はすぐにそのコンペティターに通知すること。

18.06 コンペティターはフィニッシュラインを通過したら、すぐにフィニッシュラインエリアから退く。

18.07 フィニッシュラインからレースを終えたボードを移動させるボードキャディを任命するのはレースディレクターの責任である。

18.08 賞金 10000ドル(約 100 万円)以上の全ての SUPAA イベントは、その賞金部門のトップ 10 の選手の映像を撮影すること。

18.09 全ての SUPAA 公認の賞金 10000ドル(約 100 万円)以上のスプリントレースは各ヒートとファイナルのフィニッシュ映像を撮影すること。

第 19 条: Drafting/ドラフティング

19.01 ドラフティングは同じボードクラスの同じ性別でのみ許可される。

19.02 パドラーはレースコース上で他のコンペティターやクラフト(監視船、ジェットなど)の後ろまたは横 1 メートル以内に 10 秒以上いるとドラフティングとみなされる。

19.03 男性と女性のスタートが一緒になる場合は、男女どちらもお互いのドラフトをクリアにするためスタートラインから 200m の距離が与えられる。

19.04 レースコースの境界線でコンペティターがドラフティングゾーンから抜け出せない時はドラフティング禁止ルールは適用されない。

19.05 レースコースの境界線に余裕がある時は直ちにドラフティングゾーンから出るように努力する。岩や運河、浸水している物体、橋や船など自然の境界線も含む。

19.06 コンペティターは、レースコース上では、同じボードクラスの同じ性別を除いて、あらゆるクラフト(監視船、ジェットなど含む)をドラフティングすると失格となる。

第 20 条: Paddling on the Course/コース上でのパドリング

20.01 コンペティターはコースアンパイアの意見でその行為にアドバンテージがあるとみなされない限り、ターンブイに接触しても失格にはならない。手やパドルでブイを持ち上げたり、動かすことも含む。

20.02 コンペティターがブイやゲートを誤った方向に通過または回った時は失格となる。

20.03 コンペティターはコース内のブイ(マーク)を完全にメイクし、他のコンペティターの妨害をしなければコースを外れることがあっても良い。

20.04 コンペティターはレースディレクターによってレースコースに定められていない橋や港、棧橋、トンネル、橋脚、その他の目標物を通過してはいけない。

20.05 コンペティターは膝立ちで 5 回以上漕いだらプロクラス部門は失格となる。

20.06 スタンドアップパドルボードはシングルブレードパドルで人力で進む(動く)ものとする。

20.07 パドルはいかなる場合もボードに固定してはならない。

第 21 条: After The Race/レース後

21.01 コンペティターはレースが完了したら直ちにコース及びフィニッシュエリアから出ること、そして他のコンペティターの妨げにならないようにすること。

21.02 レース後、ボードコントロール(ボード規定チェック)のために競技委員会によって選ばれたボードは、直ちにポストレースボードコントロールに移動すること。

コンペティターは報告が完了する前にその場所を立ち去ってはいけない。

第 22 条: Disqualifications/失格

22.01 不適切な方法で勝とうとするコンペティター、またはレースルールに従わないコンペティターは失格にすることができる。

22.02 レースオフィシャルや、他のコンペティター、スポンサー、観客に対し、過度に攻撃的な言動を行うコンペティターは失格にすることができる。

22.03 コンペティターはレース中に他のコンペティターやその他の人による外部からの援助を受けると失格とすることができる。また、外部からの援助を行ったコンペティターも失格とすることができる。

22.04 イベント前、イベント中、イベント後にスポーツマンらしくらぬ言動を行ったコンペティターは失格にすることができる。

22.05 スポーツマンらしくない行為、言動とは以下を含む：

- (a) 身体、パドル、ボードを使った過度な身体的危害を与えること。
- (b) 他のコンペティターのパドリング、ターン、ドラフティング、スタート、フィニッシュをボードやパドル、身体を使って妨害すること。
- (c) スタートでファウルを誘うために叫んだりすること。
- (d) パドリング、ターン、ボードから降りる時、スタート、フィニッシュ、ランニングなどの場面で他のコンペティターの能力を故意に妨害すること。

22.06 副レースディレクターはできるだけ早く失格者に通知する。失格の通知はその理由を含め書面にすること。コンペティターはその通知にサインをすること。コンペティターが通知を受け取った時刻を記すこと。その失格に対する抗議の提起はその時刻から始まる。

第 23 条:Protest/抗議

23.01 抗議はその問題となったコンペティターのみが行うことができる。

23.02 抗議はそのコンペティターがレースを終えてから、または失格通知を受け取ってから 20 分以内に競技委員会のメンバーと共に書面により提起されること。

23.03 抗議は他のコンペティターに対して、またはレースオフィシャルによる失格に対して行うことができる。

23.04 提起された抗議に対し、抗議者はレースディレクターへ手数料 USD50 ドルを支払う。この手数料はその抗議が認められた場合には払い戻される。

23.05 抗議がコンペティターまたはレースオフィシャルに対するものである時は、問題に関わる全ての人々が抗議書面を読むこと。

23.06 すべての抗議は、判定のために第三者の証言、または写真、映像による証明が必要である。

23.07 抗議は競技委員会によって、写真、映像のような直接的な根拠を持って判定される。

第 24 条:Competitor Classification/コンペティターのクラス分け

24.01 “SUPAA プロクラスコンペティター”とは、賞金付きの SUPAA イベントのトップ 10 に入った全てのアスリートのことである。

全てのパドラーは、プロクラスに登録することができるが、SUPAA プロイベントのトップ 10 に入るまでは、オフィシャルの“SUPAA プロクラスコンペティター”ではない。

24.02 SUPAA プロクラスは賞金付きのクラスである。他のクラスには賞金を付けてはいけない。賞金の無いイベントの場合 SUPAA プロクラスとはレースディレクターがプロクラスに相応しいと判断したクラスである。

24.03 SUPAA プロクラスは、同じボードクラスサイズを一つのイベントの全てのレースに使用しなければならない。

24.04 “SUPAA AGE Group Class Competitor 年齢別クラスコンペティター”とは SUPAA イベントの AGE 年齢別グループクラスに出場する全てのアスリートのことである。

SUPAA プロクラスに属さない全てのコンペティターは、SUPAA AGE 年齢別グループコンペティターである。

24.05 各クラスを形成するためには 3 人以上のコンペティターが必要である。

24.06 2015 年に SUPAA は SUPAA ジュニアボードクラス「13 歳以下」を導入します。

24.07 年齢別内訳は付録 C を参照。

Appendix A

Race Day Information Kit

This form and all other SUPAA forms are available for download on our website at: <http://supathletes.com/forms/>

Appendix B

Prize Money Breakdown

Place	Prize Money
1 st	50%
2 nd	35%
3 rd	15%

Place	Prize Money
1 st	45%
2 nd	25%
3 rd	15%
4 th	10%
5 th	5%

Place	Prize Money
1 st	35%
2 nd	20%
3 rd	12%
4 th	10%
5 th	8%
6 th	5%
7 th	4%
8 th	3%
9 th	2%
10 th	1%

Appendix C

Age Group Breakdowns

SUPAA Minnows	Ages 7 and under
SUPAA Stingrays	Ages 8-10
SUPAA Sharks	Ages 11-13
SUPAA Junior	Ages 17 and under
SUPAA Age Group	Ages 18-40
SUPAA Age Group	Ages 41-51
SUPAA Age Group	Ages 52+